

ピストンコアラ調査

海底/湖底堆積物の調査



コアラ投入状況



パイプ全景



採取試料状況 (カキ殻混じりの粘土)

背景

- ・海上での調査は、船舶の往来が多いところでは短時間で作業を行う必要がある。
- ・深い水深の場所での堆積物採取は、装置が大がかりで、安価で行うことが困難。
- ・採取試料をより正確に解析するためには、連続サンプルであることが望ましい。

特徴

- ・ボーリングが困難な水深でも堆積物採取が可能 (水深70m での採取実績あり)。
- ・短時間で採取可能・ボーリング調査よりも安価である。
- ・堆積物の連続サンプリングが可能である (15m の連続試料採取実績あり)。
- ・泥質の未固結堆積物の採取に適している。

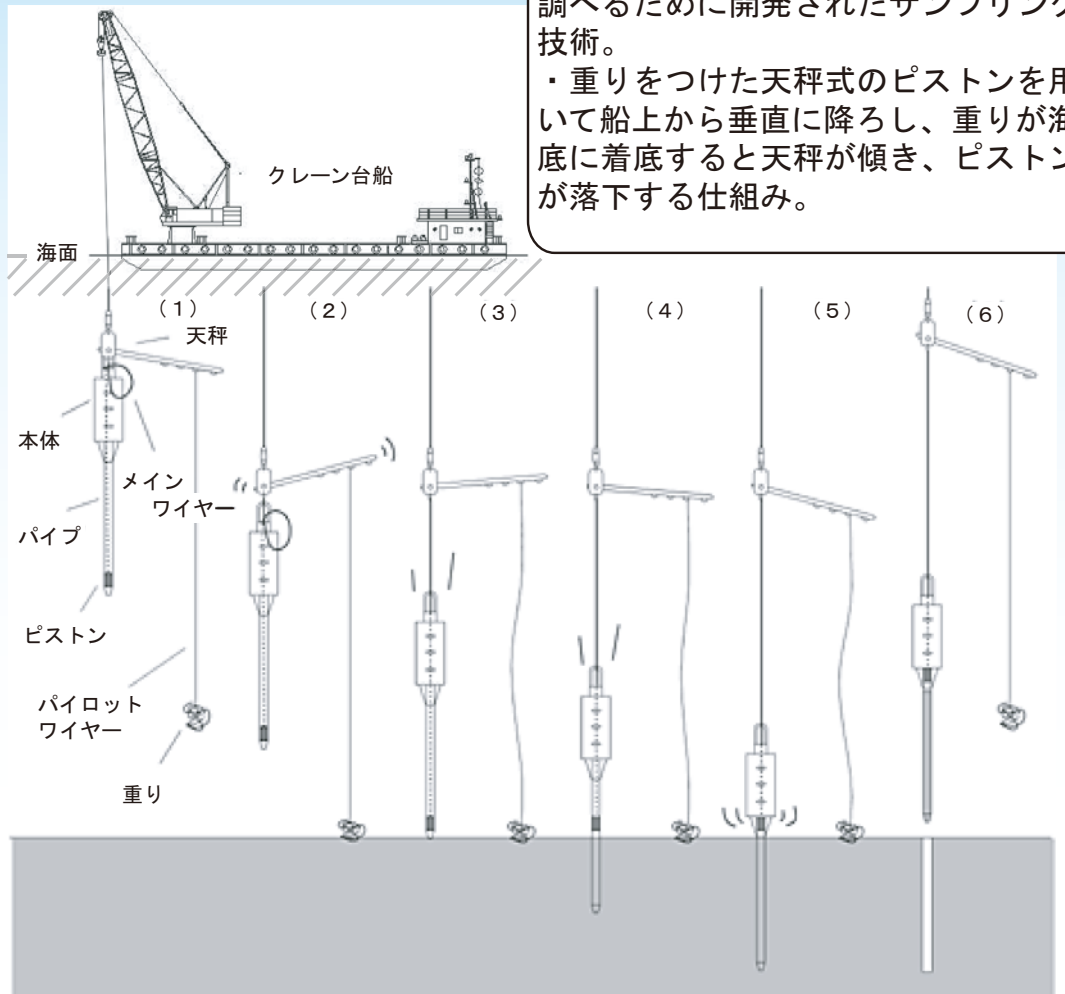
用途

- ・海底および湖底の表層地質調査
- ・海底活断層調査
- ・堆砂状況調査
- ・堆積環境調査

ピストンコアラ調査の概要

・主に海底表層付近の堆積物・地質を調べるために開発されたサンプリング技術。

・重りをつけた天秤式のピストンを用いて船上から垂直に降ろし、重りが海底に着底すると天秤が傾き、ピストンが落下する仕組み。



採取試料の処理・観察状況